

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス・児童発達支援 ぶるーむ7丁目		公表日 2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		児童と放デイで遊ぶ時間を分けてフロアを使用しています。(タイマーを使用)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		マンツーマンの支援が必要な場合も考慮し、人員配置を行っています。児発管1名他有資格者3名以上。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		目で確認できるようホワイトボードや指示カードを使用して療育を行っています。また、床は運動マットを敷いている為安全な環境です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		必ず1日の最後に、使用した箇所やおもちゃ、道具は掃除と消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		職員室を個室として使用しています。また、パーテーションと壁を使って囲うように使用し個室のようにすることがあります。	何もない個室があるとより支援が良くなると思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月に数回必ずスタッフ会議がある為、その時間で児童の様子と振り返り、目標設定をスタッフみんなで行いながら検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に2回と必要に応じて面談を行い、保護者の希望や相談を聞かせて頂いています。児童の送迎時にお話を伺うこともあります。スタッフ会議で共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		3ヶ月に一度管理者と職員1:1で面談を行います。職員のメンタルケアや業務内容の相談、提案等を聞き、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者による外部評価は行ってない為、これから検討していきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に1度必ず動画研修や言語聴覚士による研修を開催しています。また、虐待や身体拘束の研修を外部の講師を招くなどの取り組みをしています。	もっと様々な特性や障害の研修を積極的に参加できるように時間を確保する必要があります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		必ず毎年支援プログラムをスタッフみんなで見直し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		毎日児童の様子を記録し、施設内の児童の様子を保護者に共有し、面談を通して計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		会議の中で保護者の意見と職員の意見や見解の共有を元に検討を行い、支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員会議で共有しています。	共有していますが、30人近い児童の計画が全て理解度は薄いと思いますので年度計画の確認をする時間を設ける。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		児童の日々の活動の様子を記録し必要な時に確認できるように書類整備しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必ず5領域の内容を入れて支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会議に毎月の課外活動の内容や他事業所とのイベントを検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		土曜日や長期休みは児童に様々な経験や体験をしてもらうために、多くの課外活動やイベントを開催しています。	親子レクなども検討中
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		一日の活動の流れで個別活動も集団活動も行うので必然的に支援計画に組み込まれています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日の朝礼の中で本日の送迎、来所児童、レクリエーション活動の共有、その他の予定、変更点を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		各児童の1日の様子の記録。怪我や危険なことはなかったか、いつもと変わったことがなかったかの共有をしています。	送迎に時間が取られて職員みんなで共有する時間が取れない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日各児童の支援記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		目標達成の判断を職員で行い、達成の場合は新しい目標設定を行い、未達成の場合はよりスモールステップで達成できるように目標を見直しています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	他の関係機関との会議はありませんが支援計画の共有を行い、支援の向上を目指しています。		

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	学校、保育園、幼稚園などの送迎時に本児の様子や変わったことがないか共有しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	学校、保育園、幼稚園などの送迎時に本児の様子や変わったことがないか共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		機会を作って情報共有を行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		児童発達支援センターとの連携などは図れていないのでこれから検討してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	幼稚園や保育園との交流はありませんが、他デイトとの交流はあります。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎日の児童の様子は写真と動画と一緒に公式LINEで各家庭に共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		家族支援には力を入れられていないのでこれから研修や情報提供にも力を入れてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に書類と一緒に全て説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者の必要に応じて、面談の開催や、送迎時の一日の共有で家族の意向や相談など行うことがあります。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		作成した支援計画は保護者にも渡して確認してもらった上で同意のサインをいただいています。家庭と事業所で1部ずつ保存しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談時に必要に応じて様々な悩みの相談や助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	兄弟で療育を行うことはあります。	保護者同士の交流する機会はありませんが、これから検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		面談や相談を希望の場合はできる限り早い段階で、日程を調整し対応します。またこちらから面談や悩みがないか伺うこともしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的な一む通信やホームページに取り組んだ活動や支援内容を写真と一緒に情報を共有しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報情報は事務所内にある鍵の掛けられる棚に保管しています。第三者に開示することはありません。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		公式LINEや送迎時に丁寧な対応を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの作成と年に数回の訓練を実施しています。児童の避難訓練も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		入所時の時に必ず本児の体調状態やアレルギーの確認を実施しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	契約時にアレルギーの有無と細かく確認と対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全管理や危険箇所、危険予測の研修を動画で行っています。また、施設内でも児童が怪我をしそうな箇所には怪我予防の工夫を行っています。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	児童に怪我や危険行動などあった場合は必ず、送迎時に共有することや、公式LINEでお伝えしています。		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		必ず児童の怪我や危険行動を従業員で確認と共有を行っています。また、危険箇所や危険行動、怪我があった際には記録をつけています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部からの講師を年一回招き、研修を行っています。また、動画研修などでも自分たちで研修をすることもあります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	身体拘束を行う場合があることは契約時に伝えてあります。本児または、他児に危険が及ぶ場合、一時的に拘束するように決めています。	